

2023 年 4 月 25 日

## 2022 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 多胎サークル happy twins

代表者・役職名 氏名 中村 香織

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

外出応援！ふたごじてんしゃレンタルアセスメント2

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

100 人に 1 人の割合で生まれる多胎家庭ですが、その多胎育児を取り巻く環境は大変の一言で言い表せないほど過酷です。育児で寝る時間も休む時間もないまま、不安や疑問の多い多胎育児の相談をすることも公的なサポートを受けることもできない。そんな環境ではいけないと思い、同じ多胎家庭同士が集まり情報交換できる場を作りたいと思いサークルを立ち上げました。現在市内外合わせて26組の多胎家庭の登録があります。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

子ども乗せ自転車の前席は安全上の問題で3歳までとなっており4歳以降多胎児や年子などの多子家庭は子供を2人自転車に乗せることが出来なくなり、幼稚園への送迎、公園、買い物等自転車を利用しての外出が難しくなります。

そこで子供を後席に2人乗せられる3輪の自転車を見つけましたが1台15万と高額で3年程度しか乗らない自転車として購入は躊躇してしまうため必要な人たち同士でレンタル利用していければと思いニーズ調査を含めプロジェクトを立ち上げました。

昨年度のプロジェクトに引き続きレンタル期間を延ばしてのニーズ調査となります。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

・ふたごじてんしゃの試乗会(元気！フェスタのイベント内にて開催)

・ふたごじてんしゃの長期レンタル(3カ月)

・外出をためらってしまいがちな多胎家庭や多子家庭がふたごじてんしゃを利用することで

外出に対する抵抗を減らし、親子共にストレス発散、孤立化を防ぐ

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT. 実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME. 事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT. 事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

今年度の試乗会開催回数は3回。参加者は66名。市内外から参加をいただきました。試乗会では武蔵村山市長や多数の市議会議員さんにも自転車を見ていただき自転車の問題についても話を聞いていただきました。

その成果と市議会議員さんから、市へ働きかけていただき武蔵村山市では全国で初となるふたごじてんしゃレンタルへの自治体からの補助金を出していただけることになりました。新聞でも1紙取り上げられた。

この取り組みに関しては武蔵村山市だけでなく、市外からの希望も多数あり実際に試乗会へは市外の方の参加も多く、レンタルについての希望もいただいている。この取り組みを機にほかの自治体でも導入していただけるよう引き続き活動していくとともに、ふたごじてんしゃレンタルが利用者の外出の手助けとなり、孤立を防ぐ一手段となっているのかを引き続き調査していきたい。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

プロジェクトの課題として、当サークル及びこの活動の周知がまだまだ足りておらず、この事業自体があまり知られていないため試乗会の参加者も想定より少ない状況でした。ただ、イベント出展で試乗会を行ったため参加者率は昨年度より上がったが、まだまだ必要としている人に知られていないという状況があるため引き続き周知活動を行うとともに、様々な地域でもふたごじてんしゃのレンタルが普及するよう、まずは子ども乗せ自転車レンタルを行っている自治体に声をかけるなどして導入自治体が増やせるようにしていきたい。  
自治体主体のレンタルというところにこだわらず、地域の子育て団体が主導となるレンタルの方法など、今後も様々なレンタルの方法を模索してき普及活動に努める。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

都政新報さんへの掲載記事↓

**武蔵村山市**  
**「双子用自転車」貸し出しに補助**  
多胎児養育家庭を支援

武蔵村山市は、多胎児に着手する。3日開会の市議会第4回定例会で同策として、「双子用自転車」事業費83万6千円を盛り込んだ補正予算案を同日事業を行う団体への補助可決した。

双子用の自転車は、前が1輪、後ろが2輪で安定感があり、運転者の後に部チャイルドシートを縦に2人分並べて搭載すること、小学生入学前までの子ども2人を一緒に乗せることができる。同事業では、この自転車の貸し出し事業を行う

武蔵村山市は、多胎児に着手する。3日開会の市議会第4回定例会で同策として、「双子用自転車」事業費83万6千円を盛り込んだ補正予算案を同日事業を行う団体への補助可決した。



「双子用自転車」貸し出し事業を行う団体に対し、購入費(5台以内)と保険料、防犯登録料を補助する。事業を行う団体の募集を16日まで受け付けている。市子ども子育て支援課によると、多胎児を持つ母親でつくる市内のサークルから、「多胎児を連れて移動するのが大変で、同自転車の貸し出しを支援してほしい」との要望があったという。また、議会からも同様の要望が出されており、4日開会初日の補正予算可決となった。

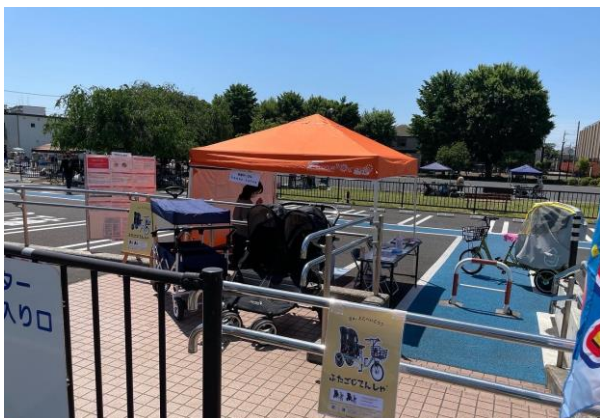
子どもを乗せて走ることができる自転車は多いが、双子用自転車は多い。市では事業継続の観点から、社会福祉協議会や智子代表取締役による「ふたごじてんしゃ」だけの購入助成を行う貸し出し事業を行うこと、を想定している。

2022年12月13日 003面 01版 No. 05

## 活動の様子

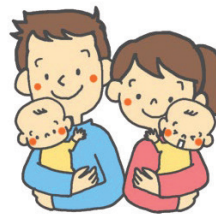


武蔵村山市長にもご覧いただきました



# ■ポケットティッシュ ( 仕上がりサイズ ) 73×104mm

天



武蔵村山市を中心として活動している多胎(双子・三つ子)サークルです！  
同じ多胎児を育てる家庭同士で多胎育児の工夫、支援情報等の共有、多胎家庭でも楽しく参加できるイベントを開催しています。市内外問わず多胎家庭の方はお気軽に遊びに来てくださいね☆  
多胎妊娠中の方・パパや多胎児のご家族の方の参加も大歓迎！

SNS↓



全国初！  
ふたごじてんし  
やレンタルに向  
けても活動中。！  
詳細はサークル  
SNSをチェック!!  
【真如苑助成事  
業】

「イラスト提供：NPO法人つなげる多胎支援フリーイラスト」

地